



## 美味しい日本茶



日本茶の種類には、煎茶、番茶、玄米茶、玉露、抹茶などがあり、産地は八女、嬉野、宇治、静岡、狭山が有名です。

お茶の種類 (分量)	特徴	渋さ	甘さ	お湯の温度
煎茶 (3杯分：約10g)	程よいまみと渋み。	★	★★★★★★	80℃
玉露 (3杯分：約10g)	一番茶の摘み取り時期の2週間ほど前、覆いをかけて直射日光を避け茶葉を育てる。それを一葉一葉手摘みして、選りすぐった原葉が玉露になる。		★★★★★	60℃
ほうじ茶 (5杯分：約12g～13g)	番茶や煎茶を強火で炒って、香ばしさを引き出したお茶。 (葉だけのほうじ茶よりも茎茶の方が甘味がある。)	★	★★	100℃
抹茶 (1杯分：2g)	玉露と同様に覆いをして育てた新芽を手摘みし、蒸して発酵を止める。開いた葉のまま、揉まずに乾燥させて茎や葉脈を取り除き、碾茶に仕上げる	★	★★★★	100℃

## 美味しい日本茶

(解説)

1. ページの余白を設定する。(「ファイル」－「ページ設定」より、上下左右 20mm)
2. タイトルを入力し、1～2行程度「改行」を入れた後、「日本茶の～」部分の文章を入力する。
3. 表の挿入を行う。(「罫線」－「挿入」－「表」より、「5×5」の表)

4. 表の幅を適当に調整し、文章を入力する。

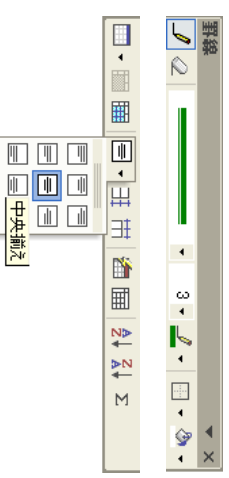
- ※1：「渋さ」「甘さ」部分の「★」は、「ほし」と入力し変換する。F4キーを押して繰り返す。
- ※2：「碾茶」などわからない文字があれば、「IME ツールバー」の「IME パッド」を利用する。



IME パッドの中で、「手書き」入力を選択する。「ウ冠」が表示されているのを「消去」で削除し、マウスの左クリックを押しながら目的の文字を入力する。

5. 表の枠線および文字の配置を変更する。(「罫線」－「罫線を引く」より、ツールバーを表示)


- ※1 表全体を選択 (十) をクリック) し、「線の種類」→「線の太さ」→「罫線の色」→「外枠」の順で外枠を変更する。さらに、項目部分の下を「二重下線」に変更する。
- ※2 項目部分を選択し、「セルの配置」から「中央揃え」をクリックする。



6. 文章全体のフォントサイズ、フォントの色を変更する。

- ※1 「編集」－「すべて選択」をクリックし、フォントサイズ「12pt」とする。
- ※2 タイトル部分をドラッグし、フォントサイズ「22pt」、フォントの色を変更する。
- ※3 タイトルを「中央揃え」にする。

7. クリップアートを挿入する。

- ※1 「図形描画」ツールバーの「」を選択し、「ライオン」「はなみずき」などで適当なイラストを挿入する。

- ※2 Ctrl キーと Shift キーを押しながらコピーをする。